

平成26年度  
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
(研究成果の社会還元・普及事業)  
実施報告書

HT26208

【プログラム名】機能的電気刺激によるエネルギー代謝の活性化～精神疾患への理解を深めながら～



開催日：平成26年10月11日(土)

実施機関：摂南大学(寝屋川キャンパス)  
(実施場所)

実施代表者：藤林真美  
(所属・職名) (学生部スポーツ振興センター・  
専任講師)

受講生：高校生1名

関連URL：

【実施内容】

・受講生に対して工夫・留意した点

初めて本学へ訪れる高校生が緊張しないよう、スタッフ全員が終始声掛けをするなど留意した。講義内容はPPTを用い視覚的に理解できるよう図を多用した。また専門用語を用いず分かりやすい言葉で説明した。

・当日のスケジュール

9:30～10:00 受付(寝屋川キャンパス1号館1階ロビー集合)  
10:00～10:20 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)  
10:20～10:50 講義「精神疾患とその治療薬の作用(講師:荻田喜代一)」  
10:50～10:55 休憩  
10:55～11:25 講義「運動が心身へもたらす効果(講師:藤林真美)」  
11:25～11:30 休憩  
11:30～12:15 体験「機能的電気刺激」  
12:15～13:00 質問時間(ランチタイム)  
13:00～13:30 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)  
13:30 終了・解散

・実施の様子

高校生1名のみでの参加となってしまったが、その1名が将来医療従事者になりたいという強い希望を持った高校生で質疑応答も活発に行われた。



薬学部長による講義。



肥満問題については、当日のお弁当メニューを立ててもらった栄養士の解説を加えた。



今日のため特別メニューのお弁当。



ランチをしながら、機能的電気刺激のしくみを説明。



電気刺激パッドを装着し、いよいよ体験。



「未来博士号」を手に、記念撮影。

#### ・事務局との協力体制

本プログラムは、本学の会計課が委託費の管理、物品購入手続きおよび支出報告書の確認を、また研究支援センターが学術振興会への連絡調整と、提出書類の確認および訂正を行った。広報活動としては、広報課が本イベントについて本学ホームページへの掲載、報道機関に対するプレスリリースを実施した。さらに学生課が参加者募集の窓口となり、中学・高校訪問も同行し、当日は写真撮影を担当してもらった。

#### ・広報活動

大学ホームページにプログラム案内を掲載した。近隣の中学・高校に広報ポスターを配布した。

#### ・安全配慮

本学倫理委員会の審査と承認を受けて本イベントを実施した。傷害保険の加入や、当日は看護師の監視下で行うなど万全の安全体制で行った。

#### ・今後の発展性、課題

早い段階から広報活動を行ったが、とくに中学生には内容が難しいと受け取られてしまったようである。中学生や高校生本人に直接広報できる機会を持てると良かった。精神障害者との共生は社会のなかで重要課題であると思われるので、今後は、中学生・高校生の興味を引けるような表現方法にし、多くの中高生に精神障害とそれに関連する研究に理解を深めてもらえるよう尽力したい。最後に、本プログラム実行にあたりご協力をいただいた関係各位に感謝申し上げます。

#### 【実施分担者】

|       |                  |
|-------|------------------|
| 萩田喜代一 | 薬学部・教授           |
| 横山喬之  | 学生部スポーツ振興センター・講師 |
| 内部昭彦  | 学生部スポーツ振興センター・助教 |
| 片平大地  | 学生部・職員           |

【実施協力者】 12名

#### 【事務担当者】

廣田祥子 学生部・課長